



おいしさで・しあわせをつくる

ダイショー



おいしさで・しあわせをつくる



第54期

株主通信

2019.4.1~2020.3.31

株式会社ダイショー

証券コード：2816

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
また、この度の新型コロナウイルスに罹患された方々や困難な状況におられる皆様の一日も早いご回復と、事態の収束を心よりお祈りいたします。

ここに、当社第54期(2019年4月1日～2020年3月31日)の事業概況をご報告させていただくにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

ダイショーは、「おいしさで・しあわせをつくる」という企業理念のもと、豊かな食文化の創造を目指し、時代とともに変化する消費者の「食」ニーズを先取りし、「焼肉のたれ」、「味・塩こしょう」、「鍋スープ」などの多彩な製品を他社に先駆けて開発し、新たな市場を創出してまいりました。

また近年、消費者の「食の安全」に対する関心の高まりに鑑み、当社は「安心・安全」を最重要課題と位置づけ、社内全部門で真摯にこの課題に取り組む、安心・安全でおいしく、かつお客様にとって利便性の高い製品を提供することで、長期安定的な企業の発展を目指してまいります。

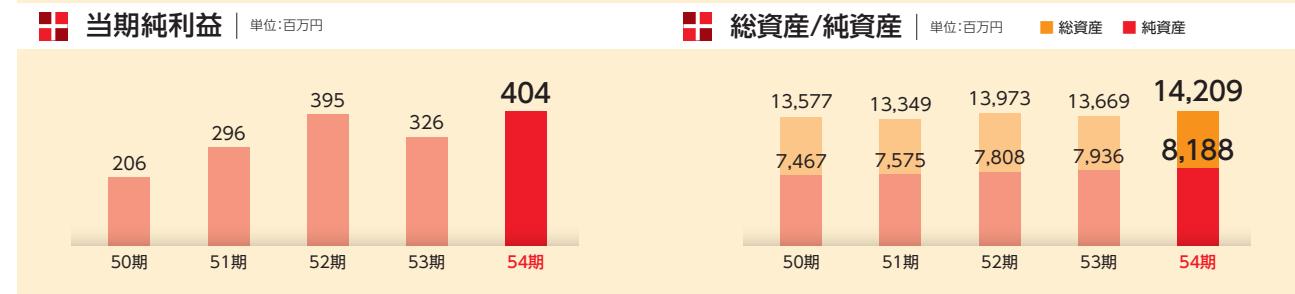
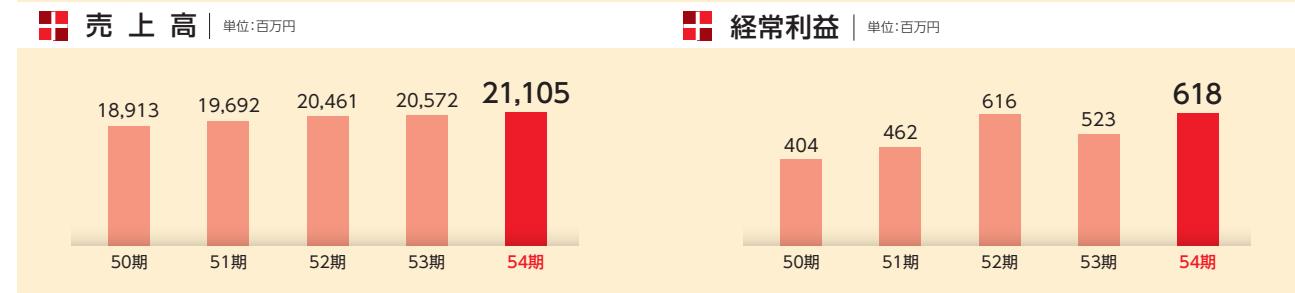
株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長 CEO
松本 洋助



取締役社長 COO
阿部 孝博



Q 第54期の業績について 評価をお聞かせください。

当事業年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続くなど、緩やかな回復傾向で推移してはいましたが、海外経済情勢の不確実性が増したことに加え、夏場に相次いだ自然災害や消費税増税にともなう消費マインドの冷え込み、さらには新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大が今後の国内外経済に深刻な影を落とすなど、先行き不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましては、個人消費の停滞と販売競争の激化が長期化するなか、お客様の価値観の多様化による差別化ニーズへの対応が依然として強く求められています。また、国内労働市場における需給の逼迫が人件費や物流費の上昇をまねくなど、多くの課題が山積する経営環境が続きました。

こうした状況のもと、当社は、前3ヶ年の中期経営計画の成果と反省を踏まえ、2022年3月期を最終年度とする新たな中期経営計画を策定し、「収益構造の改革」および「持続的成長の実現」に取り組まれました。具体的には、「主力製品の集中販売」「業務用製品のさらなる飛躍」「新製品の開発」「次世代の組織づくり」を4つの基本戦略として、収益力の高い主力ロングセラー製品の拡販に注力する原点への回帰と、新時代における持続的な成長を目指す事業活動を両輪とする施策を積極的に推進しました。また、次世代の組織づくりの一環として、全社的な世代交代に取り組まれました。

以上の取り組みの結果、当事業年度における売上高は、211億5百万円(前期比2.6%増)となり、18期連続の増収となりました。利益につきましては、原材料価格が想定範囲内で推移するなか、広告・販促企画活動などの後方支援に向けた積極投資を行ったことや物流コスト上昇の影響は受けたものの、営業利益は5億55百万円(同9.5%増)、経常利益は6億18百万円(同18.2%増)、

当期純利益は4億4百万円(同23.9%増)となりました。

なお、当期の配当につきましては、前期と同額の、1株当たり18円とさせていただきます。

Q 製品分野別の業績について お話しください。

液体調味料群においては、小売用製品で、主力製品の「焼肉のたれ」類に向け積極的な広告・販促活動を展開する一方、新フレーバー「焼肉通り 香味野菜しょうゆ味」、健康志向の「糖質オフ焼肉のたれ」の投入でラインアップの充実を図りました。また、人気メニューをご家庭で簡単に楽しめる「チーズタッカルビの素」などの新製品も売上を牽引しました。鍋スープ市場に対しては、「博多もつ鍋スープ」が順調に売上を伸ばすなか、新たに「贅沢風味」「辛さ」「少人数」「野菜をおいしく」をキーワードとする多くの新製品を投入しました。なかでも、4種類のチーズをバランスよく配合し風味とコク、チーズ感たっぷりの「クアトロチーズ鍋スープ」や、「ウニ」と「肉」という意表をつく組み合わせを鍋料理にした「うにくしゃぶ鍋用スープ」など、創意にあふれた「贅沢風味」の鍋スープが好調に推移しました。業務用製品では、販売チャネルごとに配置した専任部署の増設や人員拡充、メニュー開発・提案の強化など、新規開拓に向けた継続的な取り組みが奏功し、精肉向けのソース、および惣菜向けのたれの好調な販売が売上に寄与しました。

粉体調味料群においては、主力製品の集中販売という新中期経営計画の基本戦略のもと、「味・塩こしょう」シリーズが堅調に推移しました。業務用製品では、各販売チャネル向けにラインアップを拡充し、精肉向けや惣菜向けの売上が大きく伸びました。

その他調味料群においては、即食製品に、新製品「朝に食べたい 5つの味のスープはるさめ」「コバラにうれしい 5つの味のスープはるさめ」を投入し、売上の拡大に寄与しました。

以上のように、厳しい経営環境のなか、各製品分野で積極的に新製品を投入しつつ、主力製品の販売強化や、業務用における販売体制のさらなる増強、メニュー提案と販売の拡充に努めた1年でした。

Q 第55期の見通しについて お聞かせください。

この度の新型コロナウイルス感染症の拡大、および収束時期について予断を許さない不透明な状況が続くなか、国内外とも未曾有の社会不安につつまれ、お客様の生活防衛意識や節約志向、食の安全への希求は今後さらに強まっていくものと予想しています。また、食品業界におきましても、少子高齢化による国内市場の収縮、ネット販売市場の拡大などの流通の変化、お客様の価値観の多様化など、市場環境の変化が加速しています。さらには、物流コストの高止まりや人手不足の影響は今後も続くことになると推測され、業界ではこうした数多くの課題への対応を求められています。

当社は、引き続き中期経営計画の4つの基本戦略を着実に遂行しつつ、収益構造の改革と持続的成長の実現を果たしてまいります。

「主力製品の集中販売」では、小売用調味料市場に対し、生鮮向けや鍋スープなどの主力製品に経営資源を集中させつつ一層の拡販に努め、即食製品など、お客様の多様なニーズを捉えた価値ある製品の開発と、機動力と魅力に富んだ販促企画、キャンペーン、広告活動など、後方支援をさらに充実させてまいります。また、暖冬の頻度が高まっている現状に鑑み、鍋スープの通年製品化にも取り組んでまいります。

成長軌道にある惣菜向けを筆頭とする業務用調味料市場の開拓にも引き続き注力し、スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストアなどの流通チャネルごとに特化したラインアップの

拡充およびメニュー開発と提案を加速させ、積極的な拡販に努めます。さらには、世界の食糧需要の増大やアジア・新興国の経済成長、日本食の広がりといったトレンドをしっかりとグリップすべく、海外市場の開拓に向け販売体制をさらに強化し、海外売上の一層の拡大を目指します。

また、お客様の食の安心・安全、健康への意識の高まりに対応すべく、当社はすでに2010年7月にISO22000の認証を取得し、管理体制のさらなる強化に向け、2016年7月には4工場(関東、福岡、福岡第二、九州)すべてでFSSC22000の認証取得を完了しており、新たな品質保証体制のもとで万全の製造を目指すとともに、「糖質オフ」や「機能性表示食品」に加え、新たに適正な糖質制限を推進する「ロカボマーク」を表記した新製品の開発・投入など、価値ある健康関連製品の拡充を図ります。

「次世代の組織づくり」につきましては、選択と集中を意識した営業組織の見直しに着手し、常に将来を見据えた組織マネジメントの構築を通じて経営の効率化と生産性の向上を目指してまいります。

以上の取り組みを推進することで売上の拡大および利益率の改善を図るとともに、将来の持続的な成長を見据えた次世代の組織マネジメント体制を構築し、従業員育成への投資をより積極化することで、今後の持続的な成長を目指します。

来期の業績見通しにつきましては、売上高は218億円(当期比3.3%増)、営業利益7億50百万円(同35.1%増)、経常利益7億50百万円(同21.2%増)、当期純利益4億70百万円(同16.2%増)を予想しております。

今後もダイショーの経営理念である「おいしさで・しあわせをつくる」を価値創造の基本としつつ、当社の強みである開発力と提案力をより効率的に磨くことで実効性の高い成長ドライバーとし、お客様・お取引先各位との信頼関係を大切にしながら全社一丸となり、事業のさらなる成長と業務の一層の効率化に努めてまいります。



新商品『桑の葉 みどりむし』

国産桑の葉をベースに、注目の成分パラミロンを含有するユーグレナ(ミドリムシ)を加え、3種のオリゴ糖を配合したやさしい青汁です。栄養バランスと腸内フローラを整え、腸活をサポートします。

当社は食品メーカーとしての強みを生かし、「キレイを美しく、明日を元気に!」をコンセプトに、通信販売オリジナル商品の企画・販売を手掛けています。

水や牛乳などでお召し上がりください



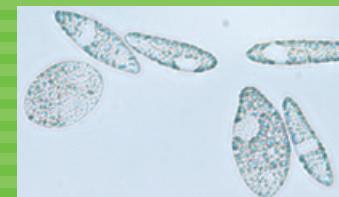
こだわりの国産桑の葉

カルシウム・鉄分・亜鉛などを含み、食物繊維が豊富



ユーグレナグラシリス

注目の成分パラミロン(β-グルカン)を含有する微細藻類



3種のオリゴ糖

イソマルトオリゴ糖、ミルクオリゴ糖、フラクトオリゴ糖





夏だけの
美味しさ!

夏鍋のススメ
一、旬を美味しく
二、手軽に美味しく
三、鍋あとも美味しく



旬の素材を簡単調理で美味しく楽しむ!

夏における鍋の需要が高まっています!

夏に鍋を食べることで、野菜不足の解消、夏バテ防止の効果が期待できます。また、「手軽に作れて、後片付けも簡単」、「しっかり火を通すので、夏でも安心」というメリットもあります。

そこで当社は「夏鍋」をテーマとし、当社の定番鍋スープを使った「スタミナメニュー」、「夏野菜メニュー」などを数多く考案し、消費者の皆様楽しんでいただくため、関連する企画に力を入れるとともに、売り場を強化してまいります。

担当者から
ひと言!



販売企画課
米永 務

夏に鍋を食べるといふ「新たな食文化」の構築と、新たな市場の開拓を目指し、『夏鍋』への取り組みを強化します。

「夏鍋」の定義として①旬の素材を②簡単に③鍋あとも美味しく食べられるメニューとし、それぞれの鍋スープに最適なメニューを考案し、提案してまいります。

鍋あとも美味しく!再加熱せずに美味しく食べられるメニューを準備しました。

今年の夏も猛暑が予想されます。冷たいものばかりではなく、野菜もたくさん摂れる「夏鍋」を食べて元気に夏を過ごしましょう!

夏鍋メニュー提案



にんにくマシマシとろろもつ鍋

材料例(3~4人前)

もつ…400g、レタス…1個、にら…1把、もやし…1袋、長芋…1本、にんにく…1個、鷹の爪…少々、ダイショー博多もつ鍋スープしょうゆ味…1袋



とろろ茶漬け



夏のふわとろキムチ鍋

材料例(3~4人前)

豚バラ肉…300g、茄子…2本、キャベツ…1/8個、にら…1把、えのき…1袋、長芋…1本、オクラ…1パック、トマト…1個、ベビーコーン…1パック、ダイショーキムチ味スープ…1袋



トムヤム風うどん



夏野菜のスープパスタ

材料例(3~4人前)

トマト…1個、玉ねぎ…1個、じゃがいも…1個、なす…1本、ズッキーニ…1/2本、ベーコン…80g、ベビーコーン…40g、パスタ(乾麺)…200g、ダイショー野菜をいっぱい食べるスープ ミネストローネスープ…1袋



夏野菜たっぷりキムチ鍋

材料例(3~4人前)

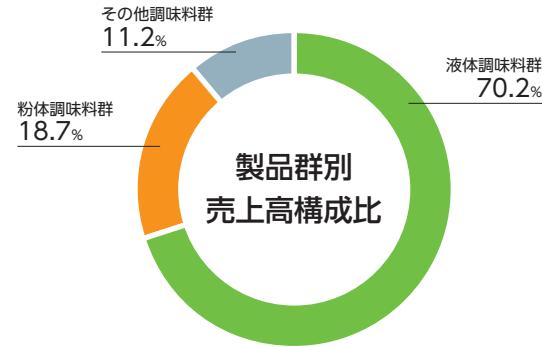
豚バラ肉…200g、キャベツ…1/4個、ミニトマト…5個、トマト…1個、ベビーコーン…1パック、おくら…1パック、ズッキーニ…1本、ダイショー野菜をいっぱい食べる鍋 キムチ鍋…1袋



チーズ入りスープリゾット

決算の概要

売上高	211億5百万円	前期比	2.6% 増
営業利益	5億55百万円	前期比	9.5% 増
経常利益	6億18百万円	前期比	18.2% 増
当期純利益	4億4百万円	前期比	23.9% 増



品目別売上状況

液体調味料群

たれ

小売用では主力製品の「焼肉のたれ」類が堅調に推移するなか、「チーズタッカルビの素」「焼肉通り 香味野菜しょうゆ味」などの新製品が売上を牽引しました。業務用では専任部署の増設・人員拡充やメニュー開発・提案強化など、新規開拓への継続的取り組みが奏功し、惣菜向け製品などが着実に伸長しました。

スープ

主力製品の販売強化の取り組みのもと、「博多もつ鍋スープ」などの定番製品は着実に売上を伸ばしました。新製品では、「贅沢風味」「辛さ」「単身、少人数」「野菜をおいしく」をキーワードとした多くの製品を投入し、特に「クアトロチーズ鍋スープ」「うにくしゃぶ鍋用スープ」に代表される「贅沢風味」の鍋スープが売上を牽引しました。

ソース

小売用では、主力の「ローストビーフソース」「スペアリブソース」などは堅調に推移しました。「肉BarDish」シリーズも新製品投入でラインアップが充実しました。業務用では「アヒージョ風ソース」などの精肉向け製品の伸長もあり、着実に売上を伸ばしました。

ドレッシング

主力の「ちぎりレタスドレッシング」など、苦戦が続きました。

粉体調味料群

小売用は、主力製品の販売強化の取り組みのもと、「味・塩こしょう」類は詰め替え用を中心に堅調に推移しました。業務用は精肉向けや惣菜向け、コンビニエンスストア向けなどで、ラインアップ充実などにより、大きく売上を伸ばしました。青汁は大変厳しい販売環境のなか、売上は減少しました。

その他調味料群

小売用は、即食製品「朝に食べたい 5つの味のスープはるさめ」「コバラにうれしい 5つの味のスープはるさめ」を新たに投入しました。さらに、「トマトがおいしい もち麦サラダ用セット」「ばくばくキャベツ用セット」を新たに投入し、「サラダ用セット」のラインアップを充実させました。その他業務用製品は堅調に推移しました。

財務諸表

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2019年3月31日現在	当期末 2020年3月31日現在
資産の部		
流動資産	5,938	6,037
固定資産	7,731	8,171
有形固定資産	6,524	6,884
無形固定資産	27	129
投資その他の資産	1,178	1,157
資産合計	13,669	14,209
負債の部		
流動負債	3,959	3,938
固定負債	1,773	2,083
負債合計	5,733	6,021
純資産の部		
株主資本	7,899	8,130
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	6,763	6,994
自己株式	△114	△114
評価・換算差額等	36	57
純資産合計	7,936	8,188
負債純資産合計	13,669	14,209

- 流動比率は153.3%と前期末より3.3%向上し、返済能力がアップしております。
- 有形固定資産は関東工場における設備導入のため増加しております。
- 負債の増加は主に長期資金の借入およびリース債務の計上によるものであります。
- 自己資本比率は57.6%と前期末より若干低下しております。

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日	当期 自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日
売上高	20,572	21,105
売上原価	12,036	12,362
売上総利益	8,535	8,743
販売費及び一般管理費	8,028	8,187
営業利益	506	555
営業外収益	32	85
営業外費用	15	22
経常利益	523	618
特別損失	9	10
税引前当期純利益	513	607
法人税等	187	203
当期純利益	326	404

- 売上高は、前期を2.6%上回り18期連続の増収となりました。
- 営業利益は増収のなかコストの効率化に努め、増益となりました。
- 経常利益および当期純利益も営業利益と同様、増益となりました。

新製品ラインアップ

… 精肉 … 青果 … 鮮魚 … 日記 … 食品

<p>57g 肉BarDish 牛肉のタリアータ用セット</p>	<p>110g リニューアル スペアリブソース</p>	<p>65g 牛肉の麻辣炒めの素</p>	<p>63g よだれ鶏の素</p>	<p>32g CoCo壱番屋監修 スパイス焼き用シーズニング</p>	<p>80g 豚キムチ炒めのたれ</p>
<p>110g チキン南蛮のたれ</p>	<p>80g リニューアル 手羽唐のたれ</p>	<p>225g リニューアル 冷しゃぶ 焙煎金ごまだれ</p>	<p>225g リニューアル 冷しゃぶ 和風玉ねぎ醤油だれ</p>	<p>225g リニューアル 冷しゃぶ 塩ごま油香味だれ</p>	<p>235g うにく用ソース</p>
<p>205g クアトロチーズソース</p>	<p>80g から揚げ粉 香味醤油味</p>	<p>70g ぱくぱくキャベツ用セット</p>	<p>70g トマトと卵で作る 酸辣湯用セット</p>	<p>147g リニューアル もちもちねぎチヂミの素</p>	<p>60g リニューアル ぱぱっと逸品 ゴーヤーチャンプルーのたれ</p>
<p>55g リニューアル ぱぱっと逸品 なすと豚肉の味噌炒めのたれ</p>	<p>55g リニューアル ぱぱっと逸品 ニラ玉炒めのたれ</p>	<p>100g 鮮魚亭 糖質オフ からし酢みそ</p>	<p>70g 蒲焼のたれ</p>	<p>100g しらたき・糸こんにゃくで作る チャプチェ風炒めだれ</p>	<p>130g 焼きラーメンのたれ</p>
<p>170g 和風ごまみそ麺の素</p>	<p>10食入り コバラにうれしい 5つの味のスープはるさめ</p>	<p>225g 麻辣もやしのたれ</p>	<p>225g 塩キャベツのたれ</p>	<p>230g 甘口焼肉のたれ 青森県産りんご果汁使用</p>	

会社概要/株式の状況

会社概要

(2020年3月31日現在)

社名 株式会社ダイショー (英訳名) DAISHO CO., LTD.
 本社 東京 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3
 TEL: 03-3626-9321 FAX: 03-3626-9393
 福岡 本社 〒812-0064 福岡市東区松田1丁目11-17
 TEL: 092-611-9321 FAX: 092-611-8288

ホームページアドレス <http://www.daisho.co.jp>

設立 1966年12月19日
 資本金 870百万円
 事業内容 たれ、スープ、粉末調味料など製造販売
 従業員数 700名

役員

(2020年6月26日現在)

取締役 代表取締役会長CEO 松本 洋助
 取締役 社長COO 阿部 孝博
 専務取締役 中西 昌至
 常務取締役 坂田 恵補
 常務取締役 松本 俊一
 取締役 古田 龍輔
 社外取締役 本郷 伸介
 常勤監査役 牛塚 良信
 社外監査役 成清 一郎
 社外監査役 馬場 正宏

株主優待ご案内



写真は3,000円相当の製品例

株式の状況

(2020年3月31日現在)

発行可能株式総数 …… 24,000,000株
 発行済株式の総数 …… 9,868,800株 (自己株式216,088株を含む)
 株主数 …… 17,506名

大株主

株主名	持株数(単位:千株)	持株比率(単位:%)
有限会社山田興産	2,442	24.75
一般財団法人金澤記念育英財団	1,488	15.07
松本賢子	853	8.64
ダイショー従業員持株会	272	2.76
松本洋助	206	2.08
株式会社西日本シティ銀行	180	1.82
株式会社福岡銀行	104	1.05

(注)当社は自己株式216,088株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

株式分布状況

(2020年3月31日現在)



株主優待制度の内容

- 対象となる株主様**
 毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記載された**100株以上**ご所有の株主の皆様を対象といたします。
- 贈呈品** 自社製品詰め合わせ
 ● 1,000円相当…100株以上
 ● 2,000円相当…500株以上
 ● 3,000円相当…1,000株以上
 ● 6,000円相当…5,000株以上

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	郵便物送付先	〒168-0063
定時株主総会	毎年6月開催	電話照会先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(フリーダイヤル)
剰余金の配当基準日	期末配当…3月31日 中間配当…9月30日 その他必要がある場合は、 あらかじめ公告して定めます。	公告方法	当社のホームページに掲載。 http://www.daisho.co.jp ただし、電子公告によることができない事故 その他やむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株		
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第二部 (証券コード 2816)

●住所変更、単元未満株式の買い取りのお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2816

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



*本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
*ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」(1809)

MAIL: info@e-kabunushi.com



〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3
TEL:03-3626-9321(代)
<http://www.daisho.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



PROJECT-
With the Earth
この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット削減しています。

